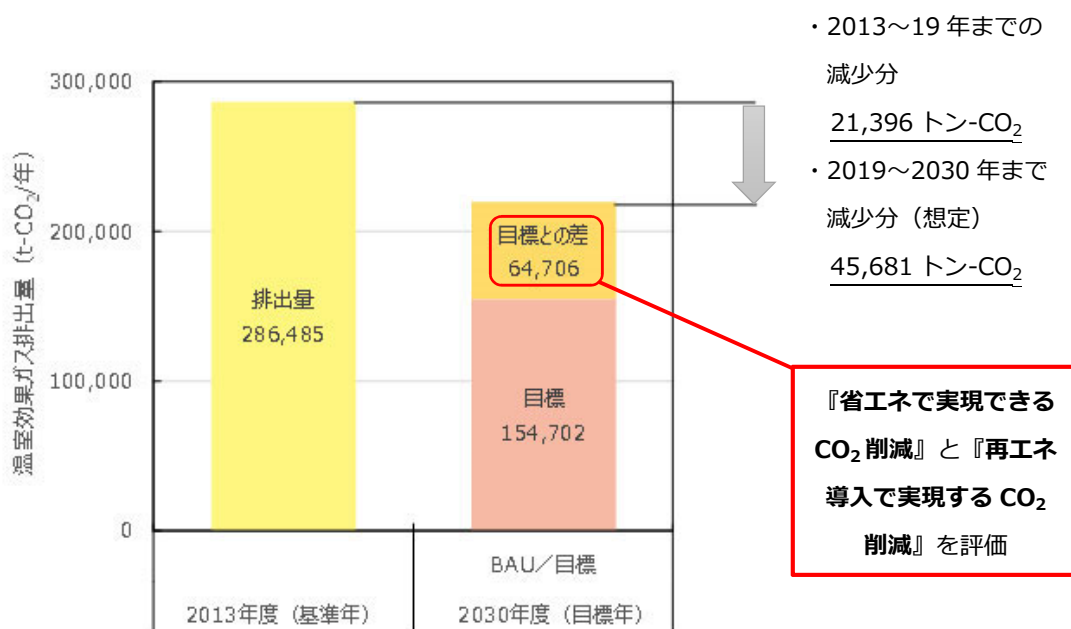


斜里町の CO₂ 削減ポテンシャルと削減目標について



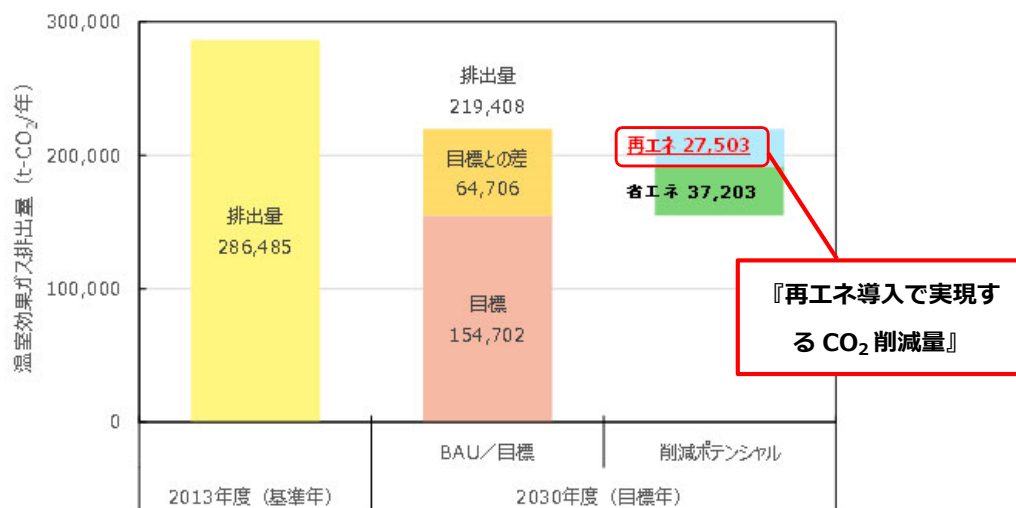
(1) 省エネで実現できる CO₂ 削減量 について

- ・国が策定した「地球温暖化対策計画」において想定する対策・施策一覧から、省エネによる CO₂ 削減可能量 (斜里町分) を評価 = 12,201 トン-CO₂
- ・省エネ法により、特定事業者がエネルギー消費原単位を年平均 1%以上低減させることが義務付けられていることに基づいて、CO₂ 削減可能量を評価 = 25,002 トン-CO₂

省エネにより実現できる CO₂ 削減量を、37,203 トン-CO₂ と評価 する。

(2) 再エネで実現すべき CO₂ 削減量 について

- ・必要削減量 (64,706 トン-CO₂) と、省エネによる削減分 (37,203 トン-CO₂) の差が、再エネの導入により実現すべき CO₂ 削減量になります。



再エネにより実現すべき CO₂ 削減量は、27,503 トン-CO₂ と評価 する。

※27,503 トン-CO₂ を削減するために必要となる再エネ導入規模 について

斜里町の太陽光発電導入ポテンシャルは 3,761,632MWh と想定されています。このうち、2.9%のポテンシャルを活用することが出来ると、27,503 トン-CO₂ の削減が可能です。

$$3,761,532\text{MWh} \times 2.9\% \times 0.25\text{トン-CO}_2/\text{MWh} \approx 27,500\text{トン-CO}_2$$

斜里町の地中熱導入ポテンシャルは 652,892GJ と想定されています。このうち 62.1%のポテンシャルを活用することができると、27,503 トン-CO₂ の削減が可能です。

$$652,892\text{GJ} \div 36.7\text{GJ}/\text{kL} (\text{灯油換算}) \times 2.49\text{トン-CO}_2/\text{kL} (\text{灯油換算}) \times 62.1\% \approx 27,500\text{トン-CO}_2$$

いずれも非常に高い目標ではありますが、**実際には太陽光や地中熱、その他の再エネ導入を組み合わせるほか、この度は削減量として評価していない森林吸収量の可能性も含めて本目標の実現を目指します。**

(3) 斜里町が掲げる CO₂ 削減目標について

- ・中期目標年度（2030 年度）の斜里町の CO₂ 削減目標を整理します。削減目標の削減目標の検討方法として、国の指針において以下の手法が示されています。

表 削減目標（総量目標）の考え方

目標設定方法	目標値
地球温暖化対策計画の目標を踏まえて設定する方法【国の目標に準拠】	46%
都道府県の区域施策編の目標を踏まえて設定する方法【道の目標に準拠】	48%
より長期の目標からバックキャストで設定する方法【独自目標の設定】	—
対策・施策の削減効果の積上げによる設定方法【独自目標の設定】	—

- ・国および道の施策との整合を図ることを重視して、独自目標は採用しません。
- ・削減ポテンシャルの評価より、本町においても 46%相当の削減量を目標として掲げることが可能であると考えます。

国の目標達成を踏まえつつ、48%の道目標の実現も見据えて、
46%以上の CO₂ 排出量削減を本町の目標とします。